

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E142J007		絵画 (Painting )																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
選択	1	3	教育学部			氏名 久間 清喜 E-mail kkuma@oita-u.ac.jp 内線												
授業の概要	中学校美術で扱う絵画領域についての知識と技術を習得する。コラボージュをはじめいろいろな表現技法を通して造形的な創造力を養い、作品を発表する。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 絵画表現のなかの「かたち」について理解できる。																		
目標2 地と図の関係について例示して概説することができる。																		
目標3 自分の作品の意図について説明し効果的な発表をすることができる。																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 地と図について																		
2 コラージュ表現について																		
3 コラージュによる制作1 素材を選ぶ																		
4 コラージュによる制作2 構成を考える																		
5 いろいろな素材によるコラージュ																		
6 作品を発表すること																		
7 展覧会の構成について																		
8 作品展テーマに応じた制作																		
9 作品展エスキース発表																		
10 作品制作																		
11 作品構成について																		
12 展示方法について																		
13 広報について(ポスター制作)																		
14 展覧会発表会																		
15 作品ファイルのまとめ方																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	制作した作品を学内,学外で発表する。グループで話し合い発表場所や展示について受講生自身が準備を行う。					工夫	その	他の									
	B:意見の表現・交換																	
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安	準備	作品を発表する展覧会に必要なものについて各自で調べる。(7h)																
	事後	展覧会でのアンケート調査など実施する。その集計をもとに考察し作品発表についての知識を深める。(20h)																
教科書	適宜プリントを配布する。																	
参考書	適宜プリントを配布する。																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	作品発表会	60%																
	作品制作	40%																
注意事項																		
備考																		
リンク	URL																	